



THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION



◆第24回三重県歯科保健大会

「育み、よりそい、護る

～食から考える学校歯科保健～

◆19年度東海信越地区歯科医師会等役員合同連絡協議会

◆19年度名古屋国税局管内税務指導者協議会



三 重 県 歯 科 医 師 会 報



公益社団法人
三重県歯科医師会
<http://www.dental-mie.or.jp/>

2019 2020
12 1
No. 701

年頭にあたって 公益社団法人三重県歯科医師会会長 大杉和司	1
年頭所感 公益社団法人日本歯科医師会会長 堀 憲郎	2
第24回三重県歯科保健大会	3
表彰 (2019)	8
2019年度東海信越地区歯科医師会等役員合同連絡協議会	10
2019年度名古屋国税局管内税務指導者協議会	15
2019年度第9回理事会 (みえ歯と口腔の健康づくり条例見直しについて協議)	16
2019年度第3回郡市会長会議 (台風15・19号災害への義援金募集)	18
2019年度第10回理事会 (設備整備事業の申請者を決定)	22
みえ歯一トネット通信 (第36回日本障害者歯科学会総会・学術大会)	24
医療管理 (2019年分所得税等の確定申告で注意すべき諸点について)	25
<hr/>	
10月・11月会務日誌	26
会員消息／新入会員プロフィール	27
告知板 (中部歯内療法学会 2020スプリングセミナーのご案内)	30
会員の広場 (第44回睦寿会総会・親睦会開催)	31
互助会の現況	32
三重県歯国保組合&協同組合NEWS	33
国保組合の現況	35
編集後記	36

New Year Message 2020

年頭にあたって

公益社団法人 三重県歯科医師会
会長 大杉和司



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年5月、新しい天皇陛下が即位され「令和」の時代が幕を開けました。11月には、即位の礼と大嘗祭を終えたことを報告する「親謁の儀」のため、天皇・皇后両陛下がお揃いで伊勢神宮や奈良・京都の天皇陵を参拝され、その後に京都御所でお茶会を催されました。この席に、三重県・鈴木英敬知事や三重県医師会・松本純一会長らとともに私もお招きにあずかり、三重県歯科医師会会員を代表して出席して参りました。図らずも御代替わりに伴う行事の一端に触れる経験をさせていただき、たいへん深い感慨を覚えたところです。

新たな元号の下での最初の「経済財政運営と改革の基本方針」には、口腔の健康が全身の健康につながることに付いてのエビデンスの蓄積やフレイル対策への寄与、介護・障害福祉関係機関との連携等、歯科に関するより具体的な記載が盛り込まれました。我が国の政策の総論を示すとされる「骨太の方針」において、歯科に係る記載が年を追って充実してきたことはご承知のとおりです。これは10年以上にわたり、歯科界が一丸となって、歯科医療の充実や口腔健康管理の推進の重要性について発信してきた成果と言ってよいでしょう。一方で、ここに列記された内容は、私たちの課題そのものでもあります。超高齢社会において歯科医療に求められる新しい役割を理解して、しっかりと責任を果たしていくことが求められているのです。こうした時代に歯科医師会の舵取りを預かる立場としては、歯科医療専門職が担うべき口腔健康管理の明確化と質の向上、オーラルフレイル対策を含む予防歯科医療の評価の確立、歯科技工士や歯科衛生士を含む働き方改革等について、改革マインドを忘れず、チャレンジ精神を発揮して、創造性豊かに取り組みたいと考えています。

社会保険診療に関する直近のデータを見ると、2019年5月診療分のレセプト請求は、社保約15万件、国保約13万件、合わせて28万件であることが分かります。三重県民178万人のうち、このひと月の間に歯科診療所を訪れたのはわずかに16%に過ぎません。歯周病だけを見てもその罹患率は80%とされているにもかかわらずこの結果です。地域の歯科診療所が県民にとってもっと身近な存在となり、健康維持・健康管理のために訪れる「かかりつけ歯科医」の機能を十分に果たすために、これから私たちは何をなすべきなのか。引き続き会員の皆様とともに、その道を探っていきたいと思います。

また、三重県では鈴木知事が「幸福実感度日本一の三重」「三重とわか健康立県」を提唱しています。歯科医師会としても関係諸団体と協調しながら、こうした目標の実現に少しでも貢献できるよう努めて参ります。

New Year Message 2020

年頭所感

公益社団法人 日本歯科医師会
会長 堀 憲郎



新年おめでとうございます。日本歯科医師会会員の皆様、そして全国の関係者の皆様には、お健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

毎年のこの年頭所感ですが、私にとっては4回目を数えます。これまで3回の所感の中でお示ししてきた「社会保障と医療への認識を共有し、オールデンタルで課題に取り組む」、「見えてきた歯科界活性化の兆しを、チャレンジングな対応により更に増幅する」、「国民の期待に応え、歯科界の10年先、20年先を見据えた新しいビジョンを構築する」という毎年の目標も、皆様のご理解とお力添えで着実に取り組みを進めることができ、成果にも繋がっています。

特に昨年一年を中心に、これまで歯科内外から発信されたエビデンスを踏まえる形で、国の医療に関わる多くの政策や方針の中に、歯科医療の充実と口腔機能管理の推進を図る記載が盛り込まれています。骨太の方針2019には、従来の内容に加えて「歯科のエビデンスの信頼性の向上」、「フレイル対策への歯科からの関わり」、「介護、障害福祉分野への歯科からの連携」といった新しい視点が追加され更に充実した他、「成長戦略実行計画」には歯周病予防への取り組みの推進を含む、より具体的な方向性が明記され、3年ぶりに改定された「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」や「死因究明等推進基本法」、「認知症施策推進大綱」、「児童福祉法・児童虐待防止法改正」、等々の中に、これまで歯科界から発信してきた方向性や、実績がしっかり反映されており、このことは過去20年間の取り組みの中でも特筆に値する成果と認識し、臨床現場の会員の皆様をはじめ、多くの関係各位のご理解とご尽力による結果と感謝申し上げますところです。

そして最近では歯科以外の識者からも「万人に有効な予防医学が無い中で、万人に有効性が高い予防歯科医療にははっきりデータが出ており、今こそ歯科医療行政は国策として急ピッチで推進するべき」との指摘などが続いています。

このような歯科医療と口腔機能管理の重要性に対する国民的な理解の深まりと各方面から歯科に寄せられている期待に応えて、地域の中で具体的アクションを展開するために議論を深めているところですが、特に昨年の年頭所感の中でもお示した「2040年を見据えた歯科ビジョン」の策定を本執行部の重要な課題と位置づけて、精力的に取り組んで参りました。昨年3回開催した外部有識者も交えた「2040年を見据えた歯科ビジョン検討会」では、これからの人口減少問題に関わる幾つもの難しい課題も明らかになっていますが、超高齢社会において果たすべき新しい歯科医療の責任や役割もより明確になりつつあります。本年度中にはこれを「令和における歯科医療の姿」として取りまとめてお示しする予定です。

その新しいビジョンに示される方向性に沿って、更に必要な議論を深めると共に、これまでの「提言・発信の段階」から「実行・実現の段階」へと進めてきた歯科医療に関わる政策提言をより体系化し、一貫性をもたせて展開していくことが、新しい年の目標となります。

昨秋の新天皇陛下のご即位の諸儀式もつつがなく終わり、いよいよ本格的に令和の新時代が動き出すことを肌で実感しています。本年が歯科界にとって、また医療界にとってそして国民の全ての皆様にとって、笑顔の溢れる真の健康長寿社会の実現に向けた明るい一年になることを祈念し、年頭所感と致します。

第24回 三重県歯科保健大会

2019年11月10日（日）
農業屋コミュニティ文化センター



11月10日（日）、晴れ渡った秋空の下、松阪市の農業屋コミュニティ文化センターで第24回三重県歯科保健大会が開かれた。第一部の式典では、冒頭に主催者代表がそれぞれ挨拶。三重県歯の大杉会長は、この日執り行われる天皇即位に伴う「祝賀御列の儀」に触れながら、会場に集った被表彰者に対して改めてお祝いの言葉を述べた。スペイン視察を終えたばかりの三重県の鈴木英敬知事も多忙な中、駆け付け、9月に発足した「三重とこわか県民健康会議」での「健康立県宣言」について紹介。歯科保健・歯科医療が全身の健康に寄与することを強調し、地域口腔ケアステーション等の取組みに期待を寄せた。三重県教育委員会の廣田委員長は、歯科保健はもとより、いじめ防止応援サポーター等も含めた三重県歯の協力を謝意を表した。また、来賓として挨拶した松阪市の山路副市長は、現在松阪市で進められているフッ化物洗口事業の拡大に意欲を示した。続いて、「歯と口の健康週間事業」（親と子のよい歯のコンクール、よい歯の児童生徒審査、歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール）や「いい歯の8020コンクール」、三重県歯科保健文化賞、歯科衛生功労者等の表彰が行われ、「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の中央審査で全国優秀作品に選出された亀山市の田中莉乃さんをはじめとした被表彰者に対し、会場から温かい拍手が贈られた。

第二部では、食育を教育の柱と捉えて積極的な取組みを進めている長崎県佐世保市立広田小学校の福田泰三教諭が「今こそ食育～あらためて見直そう命～」と題して特別講演。福田氏は弁当づくりやみそ汁づくり等、子どもたちが台所に立つことを通じて、家庭から互いに感謝する心を育てる試みを実践している他、教室で正しい姿勢が取れない子どもたちの姿から口腔機能の発達不全に気付き、歯と口の健康を考える「健口教育」を取り入れ、成果を上げている。講演の中では、子どもたちが自ら学んだ歯と口の健康と食の関わりについての知識を、九州大学の学生たちを対象にプレゼンテーションするアクティブラーニングの実際が、動画も供覧しながら詳しく報告された。一方、こうした意欲的かつ先進的な活動の背景で、学級内にいじめの問題もあったことを明かし、福田教諭の様々な働き掛けが子どもたちの気付きに繋がり、やがていじめから脱していく過程も紹介する等、聴衆に大きな感銘を与えた。

★ 歯と口の健康週間事業表彰

親と子のよい歯のコンクール表彰（最優秀）

野瀬容子さん・葵生さん（桑名市）



よい歯の児童生徒表彰（最優秀）

稲垣百々さん（四日市市）



歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール表彰（最優秀）

（左から）【中学校】中崎ちひろさん（尾鷲市）【小学校高学年】皆川七奈子さん（四日市市）【小学校低学年】椿 安純さん（志摩市）【特別支援学級・学校】須藤健斗さん（紀北町）【幼稚園】田中莉乃さん（亀山市）



★ いい歯の8020コンクール表彰

三重県知事表彰受賞者



中山定一さん
(松阪市)

石河俊信さん
(亀山市)

西島弘子さん
(鈴鹿市)

生田進さん
(名張市)

※ 三重県知事表彰受賞者のうち、中村 隆さん（松阪市）は当日ご欠席でした。

三重テレビ放送表彰（おしどり賞）受賞者



永島 眷さん・紀子さん（明和町）

★ 三重県歯科保健文化賞表彰

松阪市教育委員会

松阪市教育委員会は、長年にわたり、歯科衛生に関する事業を推進し、子どもや教職員の意識向上に努め、松阪市における学校歯科保健及び学校安全教育の充実に貢献した功績が認められました。

特別講演

今こそ食育 あらためて見直そう命 ～食とことばの力で家庭がパワースポットに～

長崎県佐世保市立広田小学校・福田泰三教諭



福田氏は冒頭、自分が教鞭を執ってきた佐世保市が、2004年の小学生同級生殺害事件を受けて6月を「いのちを見つめる強調月間」と定めた取り組みを行っていることを紹介。「自分がこの世を去る時に家族や友人から掛けられたい言葉」を尋ねると「ありがとう」という言葉が挙がることが多いと述べたうえで、そうした感謝の言葉を交わし合う生き方ができているかと聴衆に問い掛けた。

保護者の多くが目の前の仕事に追われる生活を強いられている現状を指摘し、そのストレスに理解を示しつつ、子どもたちと共有する時間を大切にしてもらうための工夫を凝らしてきたことを紹介。最も特徴的なものが、香川県で竹内和男氏が始めた「弁当の日」を参考にした「みそ汁の日」等、子どもたちを台所に立たせる仕掛けだ。幼児期・学童前期は「お手伝いをしたがる時期」で、親たちが料理等の家事をこなす様子を観察し、自分もやってみたいという好奇心や向上心が芽生える。このタイミングを活かすことが大切だという。卵焼きでもみそ汁づくりでも、料理の技術の一つずつ身に付けていくステップは、達成感に加え、家族から与えられる称賛や感謝の言葉によって、子どもたちの自己肯定感を育む効果がある。

子どもたちが給食を食べる姿も丁寧に観察し、その中で口の機能の問題にも気が付いた。口が閉じられず、舌が食物をうまく送り込めていない。

保護者の聞き取りをしていくと、哺乳期の吸綴運動が不十分で、口腔周囲筋等が未発達であることが分かる。ろうそくの火を吹き消すことや、うがいができない子どもたちが増え、スプーンからの捕食動作が苦手な子もいる。「手づかみ食べ」で一口量を身に付けていないために窒息事故が起きることもある。こうした口腔機能の発達過程が軽視されていることにも警鐘が鳴らされた。

福田氏が口腔機能に着目するようになった背景には、「噛む」ことについての学習に取り組んだ経験がある。南島原市立口之津小学校で、「自分の健康は自分で作る」という視点で、食育を通して学ぶことの楽しさを実感する授業を行ったのだ。この授業は大きな注目を集め、11年に東京で開かれた第29回顎口腔学会学術大会で、「未来の“健口”をつくろう」と題した模擬公開授業として披露された。新しい学習指導要領の下、20年からアクティブ・ラーニングが本格的に導入されるが、福田氏の「教わる／分かる学習」から「学びたくなる／伝えたくなる学習」へという試みは、そうした動きに先駆けたものと言える。口之津小学校の試みはさらに進められ、修学旅行を利用して訪れた九州大学では、小学6年生の子どもたちが大学生を相手に「みそ汁の効果」「噛むことの大切さ」についてのプレゼンテーションを行った。ただ知識を得るだけでなく、いかに分かりやすく相手に伝えるかを工夫する経験は、大変高い教育効果が得られたという。こうした様々な取り組みは、家族への感謝の心を育てたのみならず、クラスを蝕んでいた「いじめ」の問題を、子どもたち自身が克服していく力を育てたことも明らかにされた。

講演の中では、子どもたちが成長していく姿を瑞々しく記録した動画も多数供覧され、聴衆に深い感銘を与えた。

(広報情報委員・村田賢司 記)

こども110番の歯科医院



三重県歯科医師会では、「社会貢献活動の一環」として、三重県警、三重県、三重県教育委員会の協力のもと、日本の将来を担う宝である子どもたちを守るために、2006年6月より「こども110番の歯科医院」制度を導入しました。これは、不審人物につきまといわれたり、声をかけられたりした子どもたちが歯科医院に駆け込んできた場合、子どもを保護し、警察への通報等の対応を行うものです。

私たちは、子どもたちの笑顔を守り、明るい地域社会づくりに少しでも協力していきたいと考えています。

●「こども110番の歯科医院」の皆様へ

三重県歯科医師会では「こども110番の歯科医院 対応マニュアル ― 子供たちを犯罪被害から守るために ―」を作成しています。ご活用下さい。

●○●○●○●こどもサポート○●○●○●○

三重県歯科医師会会員の皆様へ

わが国では少子高齢化が進む一方で、乳幼児期、学童期の子どもたちへの虐待が年々増加しています。三重県歯科医師会が2005年度に三重県健康福祉部の協力を得て実施した要保護児童歯科調査結果では、

虐待が疑われる要保護児童においては、う蝕経験者率が有意に高く、う蝕になった歯が処置されている率が有意に低いという結果が出ています。

歯科医療従事者は、乳幼児集団歯科健診や歯科相談、学校歯科健診、歯科診療所等において、日常的に子どもや養育者に接する機会が多く、専門家の立場から虐待の早期発見に関わるべきことが提唱されています。

本会と三重県では8020運動推進特別事業の一環として、子育て支援の観点から「歯科医の立場からの児童虐待防止と子育て支援（児童虐待防止マニュアル）」を作成しています。児童虐待の早期発見・予防の一助となるよう取り組んでいくために、ぜひご活用下さい。



表彰

叙勲・旭日双光章

前田公平氏（津）



前田公平氏は、19年春の叙勲で旭日双光章を受章されました。

三重県歯科医師会理事、専務理事、副会長を歴任し、僻地巡回診療や歯科技工士養成所の設置、会員の指導・育成に努める等、歯科界発展のために尽力し、県民の保健衛生の向上に多大なる貢献を果たしたことから、今回の受章となりました。

元 三重県歯科医師会副会長

叙勲・瑞宝双光章

伊藤敏明氏（桑員）



伊藤敏明氏は、19年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。

長年にわたり、学校歯科医として、また、地域の歯科医師として、学校歯科保健の充実や地域の歯科保健の向上に献身的に取り組み、今なお自己研鑽に励む姿勢は、地域の人々をはじめ、学校関係者や歯科医師会関係者からも敬愛され、今回の受章となりました。

元 桑員歯科医師会会長

日本歯科医師会長表彰

早川豊治氏（四日市）



三重県歯科医師会の副会長として、安心・安全で質の高い歯科医療提供体制の充実を図るべく、地域医療を担う歯科医師等を対象に、院内感染予防の推進やコミュニケーションスキル向上のための研鑽の機会を幅広く提供した他、歯科衛生士をはじめとしたコ・デンタルスタッフの育成や復職支援事業に積極的に取り組み、関係機関・各種学会等との連携にも大きく貢献した実績が認められました。

元 三重県歯科医師会副会長

三重県公衆衛生事業功労者知事表彰

福森哲也氏（津）



2011年から三重県歯科医師会役員を歴任し、う蝕・歯周病予防はもとより、地域包括ケアシステムの中で専門的な役割を果たすことのできる歯科医師を養成するため、摂食嚥下リハビリテーションの普及、がんや糖尿病の患者及び妊産婦等を対象とした医科歯科連携、スポーツ歯科医学の啓発等、県内の公衆衛生の向上・増進に貢献した功績が認められました。

現 三重県歯科医師会常務理事

2019

三重県歯科衛生功労者知事表彰

星野良行氏（桑員）



三重県歯科医師会公衆衛生委員として県民の口腔衛生の向上に尽力した他、桑員歯科医師会役員等を歴任し、地域の歯科衛生事業の発展に貢献したことから、今回の受賞となりました。

元 桑員歯科医師会会長

吉田昌夫氏（松阪）



三重県歯科医師会理事として県民の口腔衛生の向上に貢献した他、松阪地区歯科医師会役員等を歴任し、地域住民の歯科保健衛生の向上に尽力したことから、今回の受賞となりました。

元 松阪地区歯科医師会会長

三重県教育功労者表彰



山根 隆氏（四日市）

長年にわたり、学校歯科医として歯科保健衛生の向上と普及に貢献した他、四日市歯科医師会会長として、学校における口腔衛生の啓発事業等、地域の口腔衛生活動の推進に尽力するとともに、歯科医療従事者の養成にも多大な貢献を果たしたことから、今回の受賞となりました。

現 三重県歯科医師会監事

三重県学校保健功労者表彰

東 惣一郎氏（松阪）



学校歯科医として、児童生徒の口腔衛生の向上に尽力した他、三重県歯役員として、歯と口の健康に関する知識の普及に努め地域住民の歯科保健衛生の向上に貢献したことから、今回の受賞となりました。

元 三重県歯科医師会理事

中坪哲也氏（伊賀）



学校歯科医として、児童生徒のう蝕予防に貢献するとともに、伊賀歯科医師会役員として地域の歯科保健衛生の啓発普及に尽力したことから、今回の受賞となりました。

元 伊賀歯科医師会副会長

2019年度 東海信越地区歯科医師会等 役員合同連絡協議会

2019年10月26日（土）
愛知県歯科医師会館



10月26日（土）、名古屋市内の愛知県歯科医師会館で、東海信越地区歯科医師会等役員合同連絡協議会が開かれた。この会合は東海信越6県の歯科医師会及び歯科医師国保組合、歯科医師連盟の役員が一堂に会するもので、三重県歯の他、三歯国保組合や三歯連盟の役員らも参加した。当番県を代表して冒頭の挨拶に立った愛知県歯・内堀会長は、22日（火・祝）に執り行われた「即位の礼」に触れ、令和の時代を迎えて最初の協議会が充実したものとなることに期待を寄せる一方、台風19号で大きな被害が出た長野県に対してお見舞いの言葉を述べた（この日、東海信越地区として長野県歯に見舞金を送ることも決定した）。日歯の内堀会長は来賓として挨拶。日歯の災害対応について説明したうえで、直近の明るい話題として、厚労省の20年度概算要求で歯科保健予算が大きく増加したことや、18年度の歯科概算医療費が約3兆円に伸びたことを紹介。これに満足することなく、引き続き歯科界活性化の取組みを進める姿勢を示した。さらに政府が立ち上げた「全世代型社会保障検討会議」に言及し、財政論だけに依拠した給付と負担の議論に対して強い懸念を表明した。日歯・瀬古口専務理事及び日歯連盟・山下副会長からの会務報告や東海信越地区歯科医師会連絡協議会の収支決算報告の後、協議に移り、協議会規約の一部改正や収支予算案を承認。また、災害時の相互応援に関する協定が合意され、各県歯会長が署名・捺印した協定書が披露された。次期開催県を新潟に決定した後は、7つの分科会に分かれて様々な課題について協議。それぞれ2時間にわたって熱のこもった議論を交わした。

第1分科会（時局問題）



第1分科会は日歯から堀会長、柳川副会長（静岡県歯会長）、瀬古口専務理事を迎えて行われ、▽県行政等の他組織との連携の進め方▽若手会員の育成と歯科医師会活動への参加▽関連団体（医師会・病院協会・薬剤師会・看護協会・介護協会・栄養士会・言語聴覚士協会等）との連携の状況▽終身会員（優遇会員）の年齢引上げ▽将来の会費

収入減に向けての対策▽企業健診の統一化―等について協議した。

各県歯は、次世代の会務運営を担う若手会員の入会促進や育成、将来の財政シミュレーションに基づいた組織のスリム化や会費免除年齢の引上げ、歯科保健予算の獲得等に取り組んでいる。一方で将来の会費収入減は各県に共通の課題となっている。終身会員の年齢に関しては、日歯が13年4月に75歳に引き上げ、三重県歯も翌年に同様の対応を取った。現在の会費収入は順調に推移しているが、団塊の世代が75歳を迎える25年以降は毎年終身会員が大幅に増え、納入者の減少が現実的な問題となる。会務運営に支障を来さぬよう、歯科関連予算の獲得、さらなる会費免除年齢の引上げ等を考える必要が出てくるかもしれない。

第2分科会（医療管理・厚生共済）



第2分科会には、日歯から会員・厚生・会計を統括する神田常務理事、医療管理と医療安全対策を担当する濱理事が出席。神田常務理事からは台風15・19号災害への義援金募金が依頼された。

協議では、▽歯科衛生士養成学校の臨床実習の受入れ▽税務対策▽歯科医療機器の中古品売買▽歯科衛生士需給問題▽キャッシュレス化▽医療広告▽直近の歯科医師逮捕事例と歯科衛生士・歯科助手の業務範囲―等の課題が取り上げられ、各県の現状と取組み及び問題点等について積極的な議論と活発な情報交換が行われた。

歯科衛生士需給問題に関しては各県とも苦慮しており、多くの対策を講じているが、高校生や小・中学生にアプローチして歯科衛生士の認知度をアップしていく必要性を再確認。手法としては「歯と口の健康週間事業」のイベント等とタイアップして職業告知事業を行うことや、高校訪問等が提示された。資格を持ちながら就業していない歯科衛生士が50%以上存在するため、復職支援の取組みも必要と思われる。税務対策では、日歯から従来の決算書調査を日歯総研の歯科医業経営実態調査に統合し、隔年実施とする旨が報告された。中古医療機器の売買については、医療機器の売買には許可が必要であることが周知されておらず、違法性を認識していない場合もあるようだ。不具合や医療事故、健康被害等が起きた場合の責任問題等のリスクが高いこと、正規ルート以外は修理等も行われないことから、注意喚起を行うとともに正規ルートでの売買を推奨していくことが確認された。キャッシュレス化への対応については、各県とも三師会での検討を見守ることで意見統一。

各会員が独自で契約を進めると団体交渉への影響が懸念されるため拙速な契約は控えたい。医療広告については、ネットパトロールが強化されているとのこと。行政や保健所とも連携を取りながら、

注意喚起や指導を行っていくことが確認された。歯科衛生士及び歯科助手の業務範囲については、愛知県での事例を踏まえてコンプライアンスの遵守の必要性と対策等が再確認された。

第3分科会（学術）



第3分科会には、日歯から学術・国際渉外・学会を統括する尾松常務理事が参加した。

当番県である愛知県歯の竹内常務理事の挨拶の後、加藤理事が司会を務め、次期に生涯研修セミナーを担当する新潟県歯から今年度のサテライト研修の検証結果が報告された。東海信越地区では、昨年度から全県でサテライト研修を行っているが、今年度は新たなテレビ会議システムWebexが日歯から提供されたことを受け、詳細な意見交換を行った。具体的には、映像と音声が不安定となる時間帯があったことや、講師のパソコンの画面サイズ調整が講演直前となったことが挙げられ、

事前の試験運用で会場のインターネット環境を十分に確認することや、前日までにパソコンの調整を行う必要性等について意見が述べられた。

協議では、▽全国共通がん医科歯科連携講習会▽学術講習会・研修会におけるサテライト会場の設置▽生涯研修制度の会員への周知と研修ポイントの活用法▽県民へ向けた学術講演会（県民公開講座等）の取組み▽ビスフォスフォネート製剤投与に関する医科・歯科の情報共有▽郡市区出張講習会活動一等について活発な意見交換を行った。蛭川理事は生涯研修制度における「総合認定医」の条件として、昨年度から「e-learning研修」が必須とされているが、会員への周知が不十分であることに加え、実際にEシステムへの会員ログインが少ない現状に触れ、ネット環境に疎い高齢会員にも配慮が必要であるとの意見を述べ、生涯研修制度の認定条件の緩和を要望した。また、次年度の生涯研修セミナー開催時期が東京オリンピックと重なることについて配慮が必要との意見も出された。

第4分科会（地域保健等）



第4分科会には、日歯から小玉常務理事と佐藤理事が参加した。協議では、▽口腔機能発達不全

症への各県歯の対応▽中学校・高校での歯肉炎対策▽在宅歯科医療の推進課題▽障害者歯科診療対策▽歯牙酸蝕症健診一等について、各県の取組みや問題点が活発に議論され、日歯役員からは全国的な動向や情報が提示された。

一昨年に保険収載された口腔機能発達不全症について、三重県歯では18年10月に日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック・田村文誉教授の講演会を開催した。他県歯でも同様の取組みが見られるが、実際の訓練に関しては手探り状態で、今後、訓練担当者を講師にした講演会が

企画されている。歯肉炎対策としては、生徒会活動の一環として歯科保健活動を取り入れる試みや、マウスガード作製時に歯肉炎の講義を行う等の工夫が報告された。三重県歯でも19年8月の学校

歯科衛生大会でランチオンセミナーを行ったが、学校歯科医による講話だけでなく、生徒や教員を含めた歯科保健活動を展開することにより、停滞している歯肉炎の改善に繋げることが期待される。

第5分科会（医療保険）



第5分科会には、日歯から林常務理事が出席し、2040年問題を見据えた社会保障のあり方と、歯科医療のあるべき姿について論じた。また、18年度診療報酬改定のポイントとして、歯科から医科への医療連携として初めて導入された「診療情報連携共有料」の意義や、かかりつけ歯科医機能をより一層推進する観点から施設基準を見直し、「かかりつけ歯科医機能」と「歯援診」の役割分担を明確化したことについて解説した。歯科界の

懸案事項の一つである金パラの高騰についても、日歯としての対応や代替材料を活用した高強度硬質レジンブリッジ等の新規歯科医療技術が保険収載されるまでの流れについて詳しく紹介。最後に2040年に向けて、求められるサービスが適切に提供されるために医療ICTの推進が必要であるとの認識を示しながら、医療情報保護に関する法整備も含めた課題に対しては是々非々で対応していきたいと締め括った。

協議では、個別指導に関する協議が多く提出され、各県歯の指導現場での対応や、持参物・指摘事項等について活発な意見交換が行われた。林常務理事は、個別指導等に問題があれば日歯から厚労省へ働き掛け、しかるべき対応を取る姿勢を示した一方で、「指導医療官も歯科医師会もともに保険医療の適正化を目標としている」と理解を求め、会として必要な主張は行いつつ、指導医療官らと信頼関係を構築して欲しいと述べた。

第6分科会（広報・調査）



第6分科会には、第3次堀執行部で再任された日歯・小山常務理事が2年ぶりに出席。直近の活動の中から、「いい歯は毎日を元気に」プロジェクトと題した国民向け動画の製作や、日本産婦人科学会との連携について詳しく解説した。妊産婦向

けアプリ「Baby プラス」では妊娠期別のオーラルケア方法等を掲載する他、会員は日歯ウェブサイトのメンバーズルームから歯科診療所情報を登録することができる。

協議では例年話題に上るSNSの活用から情報交換がスタート。以前から対外向けにFacebookを活用しているところもあるが、会員向けにLINE@等の活用も進んでいる。対外広報については「よ坊さん」や独自キャラクター、ロゴマークの活用、企業とタイアップした活動等が紹介された。報道機関との関係構築についても話題に上ったが、メディア側の担当者の異動の影響もあり、効果は様々なようだ。会員向けウェブサイトの活用についてもそれぞれの取組みを紹介。三重

県歯としても特に重視している事業なので詳しい内容を披露した。費用面でも、外部委託に依存している他県歯に比べ、手作りの三重県歯のサイトはコストパフォーマンスが極めて高いと評価できる。三重県歯からは現在少しずつ取組みを進めて

いるSEO（Search Engine Optimization：検索エンジン最適化）対策について情報を求めた。他県歯でも本格的な対策を取っているところはなかったが、ICTに明るい若手役員らから具体的な方策等を聞くことができた。

第7分科会（総務・災害・警察）



第7分科会には、日歯から蓮池常務理事が同席。冒頭、長野県より台風19号の被害状況について報告があった。協議題は、▽日歯災害歯科保健医療体制研修会を受けての各県での研修会の開催▽災害歯科コーディネーターと災害医療コーディネーターの連携▽郡市における行政歯科関連職の配置状況及び災害歯科コーディネーターの育成▽対策本部の組織作り▽日歯「19年度災害歯科保健医療チーム養成支援事業」▽災害時の緊急連絡手段一等、ここ最近の状況から全て災害関係となった。

昨年度から行われている日歯の災害歯科保健医療体制研修会の伝達講習を各県で行うのが難しいことや、災害関係の研修会に会員の参加が少なく苦慮しているとの報告があった。各郡市会に配置されている災害歯科コーディネーターについては、各県歯とも未だ災害医療コーディネーターとの連携が構築されておらず、どのように連携を取り、災害歯科コーディネーターを育成していくか検討中とのこと。蓮池常務理事は、避難所における行政歯科職の役割は大きく、保健所単位で歯科関係者を配置することや、県の防災計画の災害医療の中に歯科の文言を入れることが重要であると説明した（三重県での行政歯科職は歯科医師1名、歯科衛生士1名）。災害時の緊急連絡手段等としてはSNSを活用する県歯が増加している。静岡県歯では衛星電話を使用しているが維持費が高いため再考中であるとのこと。その他、停電に備えた発電機の設置についても報告があった。



2019年度 名古屋国税局管内税務指導者協議会

2019年10月31日（木） ホテルグランヴェール岐山



10月31日(木)、岐阜市内で名古屋国税局管内税務指導者協議会が開かれ、三重県歯から林常務理事と桑名理事が出席し、太田常務理事も日歯税務・青色申告委員会副委員長として参加した。

第一部では名古屋国税局管内の4県歯及び青色申告会の担当者と嘱託税理士が協議。各県の税務関係の事業内容を報告した他、税務に係る協議題について意見を交わした。

10月26日(土)に開かれた東海信越地区役員連絡協議会第2分科会に続いてキャッシュレス化についても議題に上り、日歯からは9月に実施したアンケート結果の速報が示された。年内にも分析を加えて報告される予定だ。キャッシュレス化については、日歯が日医・日薬と共同で手数料の料率や端末導入の支援等について交渉中であり、決済事業者との個別契約については慎重に対応するよう会員指導することが求められた。

従来、日歯が行ってきた「歯科医業経営内容調査」と日歯総研の「歯科医業経営実態調査」の統合についても改めて説明があった。統合後の最初の調査は、20年2～3月に調査票を発送し、3～4月中に回答を求める予定。調査対象は日歯会員

の約20%を無作為抽出するが、高い回収率が求められるため、会員の理解と協力が期待される。

続いて太田常務理事が日歯委員会の副委員長長の立場で医療関連税制と日歯の税制改正要望について講演した。重要な医療関連税制として、まず、社会保険診療報酬の所得計算の特例措置と事業税非課税の特例措置について、その歴史的経緯を踏まえて紹介。近年の課題である社会保険診療に係る消費税非課税制度及び控除対象外消費税問題については、ここ数年間の議論の流れを整理。現時点では「非課税診療報酬補填という8%引上げ時の手法をより精緻に行う」という判断に至っていることに理解を求めた。併せて、19年10月に導入された軽減税率について、その概要と歯科への影響、問題点等についても詳述した。さらに19年度税制改正要望の実現項目として「個人版事業承継税制」の考え方や仕組み、シミュレーションの結果、注意点等を示した。

次いで、日歯の丸山嘱託税理士が講演し、贈与税や消費税に係る税務、歯科クリニック経営改善のポイントについて解説した。

第二部からは、名古屋国税局課税第1部個人課税課から田代 浩課長と鈴木信寿連絡調整官が出席。税務当局の立場から、▽消費税率の引上げ▽ICT化への対応(e-taxの推進)▽適正申告一等の概要について報告した他、▽所得税・消費税に関する誤りやすい事例▽区分経理▽個人版事業承継税制▽65万円の青色申告特別控除の適用条件の変更▽スマートフォンによる確定申告一等について資料を示しながら詳しく解説した。

(常務理事・太田賢志 記)

2019年度

October

第9回理事会

2019年10月3日(木)

三重県歯科医師会館

みえ歯と口腔の健康づくり条例見直しについて協議



10月3日(木)、19年度第9回理事会が開かれた。大杉会長は「三重とこわか県民健康会議」について報告。鈴木英敬知事が参加者とともに「三重とこわか健康立県」を宣言した。医療管理委員会は3月1日(日)に第2回講習会を開催することを報告。内容は肝炎を含めた感染対策の予定。公衆衛生委員会は1月19日(日)に「食と健康フォーラム」を開催する。スポーツ歯科PTの蛭川理事は21年開催の三重とこわか国体に備えて参加した茨城の国体について詳しく

報告。スポーツへの歯科の貢献を広く周知できるよう準備を進める方針だ。協議では10月26日(土)に開かれる東海信越地区歯科医師会等役員連絡協議会の各分科会での協議題について確認。また、県行政に要望している「みえ歯と口腔の健康づくり条例」の見直し案について意見を交わした。

報告等

●三役報告

【出席会議】三重とこわか県民健康会議(9/6)、第1回三重県がん対策推進協議会(9/9)、第1回三重県地域医療介護総合確保懇話会(9/10)、日歯第191回臨時時代議員会(9/12)、県医師会との打合せ(9/26)、三重県国保連第1回保健事業支援・評価委員会(9/9)、第29回中規模県歯科医師会連合会会議(9/11)

●社会保障委員会

【事業活動】社保自主懇談(事前)(9/12、26)、社保自主懇談(直前)(9/19、21)、個別指導(9/26)【出席会議】社会保険情報ネットワーク連絡協議会(9/8)、社会保険指導者研修会(9/9)、社保・国保審査委員会合同協議会歯科部会打合せ(9/12)【報告事項】薬価基準による歯科関係薬剤点数表、診療報酬等における消費税の取扱いに係る周知用ポスター(厚労省)、福祉医療費

助成制度実施状況一覧、特定保健医療材料価格調査の実施、区分C2(新機能・新技術)における医療機器の保険適用

●医療管理委員会

【事業活動】歯科衛生士復職支援講習会(9/8)、第2回医療管理委員会(9/12)【報告事項】インターンシップ事業等、診療報酬等における消費税の取扱いに係る周知用ポスター、消費税の軽減税率制度への対応、民法の一部を改正する法律の施行に関する周知、キャッシュレス・消費者還元事業、『三歯会報』10・11月号植村顧問記事、歯科相談6件【協議事項】第2回医療管理講習会講師

●学術委員会

【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報(HP)、生涯研修セミナーDVDの有料頒布案内、生涯研修セミナー(東海信越地区:8/25)、

図書の購入

●公衆衛生委員会

【事業活動】「いい歯の8020」表彰・審査委員会、口腔機能向上推進事業説明会(9/19)、地域口腔ケアステーション対応力向上研修(9/22・23)【出席会議】三重県小児保健協会理事会及び第77回三重県小児保健学会(9/8)、学校保健総合支援事業第1回協議会(9/12)、企業健診統一化に向けての実務担当者打合せ(9/26)、日学歯第98回臨時総会(10/2)、南伊勢町教育委員会訪問(10/3)【報告事項】『ママごはん』秋号、「親と子のよい歯のコンクール」中央審査会結果、後期高齢者歯科健診確認作業のための8020推進員募集、「食と健康フォーラム」講師及び日程(1/19)、「地域包括ケアシステムにおけるかかりつけの歯科医師が果たす役割と今後の働き方等」に関する調査(日歯・日歯総研)【協議事項】糖尿病と歯周病の医科歯科連携

●広報情報委員会

【出席会議】三重テレビ『Mieライブ』(10/10)大杉会長出演 打合せ(10/3)、全国地方紙「いい歯の日」企画広告打合せ(10/3)【報告事項】第24回三重県歯科保健大会告知(NHK)、「いい歯は毎日を元気に」プロジェクト国民向け動画の活用(日歯)、県歯公式ウェブサイトのSEO対策【協議事項】第24回三重県歯科保健大会の日歯ウェブサイトでの告知

●スポーツ歯科PT

【出席会議】第74回国民体育大会ドクターズ・ミーティング

●障害者歯科センター

【事業活動】障害者歯科センター診療実績【協議事項】障害者歯科臨床経験施設更新申請

●災害時対応・体制室

【報告事項】近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練(10/27)、セコム登録状況(9/27現在)、9月上旬大雨による被害状況、台風15号への対応(日歯)

●特別委員会

【事業活動】第1回選挙管理委員会(9/26)、第1回裁定審議委員会(9/26)

●日歯委員会等

【社会保険委員会】社会保険指導者研修会(9/9)、次期改定対応の第1回会合(9/25)、小委員会(厚労省監査室との勉強会)(9/25)【地域保健委員会】第47回産業医学講習会(9/8)【医療管理委員会】日本歯科衛生士会・全国歯科衛生士教育協議会との打合せ(9/18)、第1回医療管理委員会(9/25)【日学歯】第6回理事会(9/11)、普及委員会(9/25)

●その他

【出席会議】介護給付費等審査委員会(9/24)【報告事項】工場勤務者を対象とした歯周病予防のための共同事業(愛知県歯)

協議事項

1. 東海信越地区歯科医師会等役員連絡協議会分科会協議題
2. みえ歯と口腔の健康づくり条例の見直し
3. 三重県移住・就業マッチング支援事業への対応

議題

- 第1号：郡市会長会議の招集並びに附議事項に関する件
- 第2号：第20回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会の開催
- 第3号：入会申請／葛島康平(桑員)、稲掛耕太郎(松阪)、中村修崇(伊勢)
- 第4号：互助会入会申請
- 第5号：互助会給付(9/4～10/2申請分)

2019年度

第3回郡市会長会議

October

2019年10月31日（木）

三重県歯科医師会館

台風15・19号災害への義援金募集

10月31日(木)、19年度第3回郡市会長会議が開かれた。大杉会長は、▽18年度概算医療費▽20年度厚労省概算要求歯科保健課関係予算▽次期診療報酬改定▽日歯税制改正要望▽日歯と日本産婦人科学会との連携▽三重県行政への要望事項一等について報告。稲本専務理事は9月から10にかけての大雨や台風による日歯及び三重県歯会員の被害状況について報告するとともに、日歯が募ることを決めた義援金について、三重県歯で取りまとめたうえで送金する旨をL-net通信で会員に依頼する方針を示した。学術委員会は、12月22日(日)に三重県医師会との医科・歯科合同研修会を開催することを報告。医師・歯科医師の二つの免許を取得し、元・中医協専門委員として医科歯科連携の推進に尽力してきた千葉大学の丹沢秀樹教授を講師に招く予定で、多数の会員の出席が期待される。社会保障委員会は、サンメディカル(株)の「ハイブリッドコートⅡ」が区分C2として保険適用されたことを報告。期中導入として12月に収載される。医療管理委員会は、キャッシュレス化について日歯・日医等が共同で検討・交渉していることを報告。日歯は事業者との個別契約について、現時点では慎重な対応を求めている。協議では、岩田会長(桑員)からの▽市町の妊婦歯科健診▽フッ化物洗口▽周術期口腔機能管理(医科診療報酬)一等についての質問・要望に対し、執行部からの回答に加え、各郡市会長からも報告が寄せられた。秋本会長(亀山)からのコ・デンタルスタッフの業務範囲に関する質問には、稲本専務理事が直前に報道された近県での事例を挙げて説明。業務範囲の確認のみならず、労務管理や訴訟の可能性を念頭に置いた保険の備えについても紹介した。

会長報告



18年度概算医療費

厚労省が9月末に18年度の概算医療費を公表した。総額は42.6兆円で前年度から約0.3兆円の増加で伸び率は0.8%。歯科は、2兆9,712億円で構成割合は7%。対前年度比の伸び率は

1.9%で、全体の伸び率が0.8%である中で突出しており、日歯は歯科の活性化が現れたものと受け止めている。1施設当たりの医療費の推移は、1診療所当たり4,174万円で前年比2.2%増。都道府県別で見ると、三重県は2.0%増で全国17位、1日当たりの医療費も2.6%増と全国4位である。県歯として算定漏れを少なくするよう働き掛けてきた結果だと考えている。医療費が伸びているにもかかわらず、平均点数が低迷しているのは診療所当たりのレセプト枚数が多いことが影響していると思われる。

20年度概算要求・歯科保健医療施策の概要

8月末、厚労省が20年度予算の概算要求を公表した。歯科保健医療施策に直接関わる医政局

歯科保健課の予算は33億5,700万円で、昨年の確定予算に比べて43.5%増の要求となっている。省内で歯科医療の重要性についての理解が深まっていることがうかがわれる。新規事業としては、「歯科口腔保健・歯科保健医療の充実・強化」として「歯科口腔保健医療情報収集・分析等推進事業」「在宅歯科医療提供体制支援事業」「歯周病予防に関する実証事業の実施」「ICTを活用した医科歯科連携の検証事業」「脳卒中患者に対する口腔機能管理モデル事業」が、「歯科医療従事者等の資質向上」として「歯科技工士の人材確保対策事業」等、6項目の新規事業が記載されている。

20年度税制改正要望（日歯）

従来通り、社会保険診療報酬に係る「事業税非課税の特例措置」「所得計算の特例措置」の存続を要望するとともに、消費税は非課税扱いとし、診療報酬により過不足なく補填を行うよう求めた。設備投資支援関係では特別償却制度の適応対象の拡大に、事業承継支援関係では個人版事業承継税制による納税猶予期間中の法人移行への配慮に言及している。

日本産婦人科学会との連携（日歯）

日歯・日産婦が「妊産婦への予防歯科」の普

及のため連携し、妊産婦向けアプリ「Baby プラス」の中に「予防歯科」情報を掲載した「予防歯科ガイド」のサービスを開始した。同アプリには会員の歯科診療所情報も掲載可能で、日歯ウェブサイトのメンバーズルームから登録できる。

次期診療報酬改定の基本方針

9月末から社会保障審議会医療保険部会で、診療報酬改定の基本方針の議論がスタートした。基本認識として、まず「健康寿命の延伸」が掲げられていることから、歯科では、▽口腔疾患の重症化予防▽口腔機能維持向上への対応▽在宅歯科医療のさらなる実現一等、かかりつけ歯科医機能が重要視されることが予想される。「医師の働き方改革」の推進に当たっては、医科歯科連携や病診連携の推進に係る評価が検討されるかもしれない。「患者・国民に身近な医療の実現」については基礎的な医療行為の適正な評価を求めたい。

県行政等に対する20年度要望事項

「みえ歯と口腔の健康づくり条例」の見直しと県内行政機関（各保健所・教育委員会）への歯科衛生士の配置の2点について要望した。

一般会務報告

会員数

19年4月1日～10月31日の期間で入会12名、退会9名。現会員数860名。

障害者歯科センター実績報告

委員会事業報告

【学術】（林常務理事）

第3回医科・歯科合同研修会

12月22日(日)に開催予定。医師・歯科医師の二つの免許を取得し、元・中医協専門委員として医科歯科連携の推進に尽力してきた千葉大学の丹沢秀樹教授を講師に迎える。

各郡市会学術研修会

10月31日(木)～1月31日(金)の期間、桑員、

8月診療分：診療日数7日間、件数145件、実日数163日。9月診療分：診療日数8日間、件数136件、実日数156日。

津、松阪、伊勢、鳥羽志摩、伊賀で研修会が予定されている。

【公衆衛生】（福森常務理事）

児童虐待防止対策の抜本的強化

厚労省より日歯を通じて児童虐待防止対策の強化について協力依頼があった。歯科医師は乳幼児健診や学校健診等で虐待を発見しやすい立場にあることから、児童相談所や要保護児童対

策地域協議会の重要性を理解し、児童虐待防止対策に関する研修等に積極的に参加されたい。また、健診等で児童虐待の兆しや疑いを発見した場合は、迷わず児童相談所または市町に通告されたい。

糖尿病と歯周病の関連調査

10月11日(金)時点の受診者が768名で予定数に満たないため、受診期間を12月20日(金)まで延長する。

公衆衛生関係の主な研修会予定

12月に第5回歯科医師認知症対応力向上研修及び全国共通がん医科歯科連携講習会を実施。1月に、学校歯科保健先進地視察研修、「食と健康フォーラム」、第9回医科・歯科連携推進人材養成研修会を開催する。2月16日(日)には第11回みえ歯ートネット研修会が予定されている。

第24回三重県歯科保健大会の日程等

11月10日(日)に松阪市で開催予定(P.3参照)。今年度は「いい歯の8020コンクール」の応募者が900名を超えた。

【社会保障】(前田常務理事)

区分C2における医療機器の保険適用

サンメディカル(株)の「ハイブリッドコートII」がC2(新機能・新技術)区分で12月から保険適用されることが決まった。生活歯歯冠形成を行った歯に対して、象牙細管の封鎖を目的としてコーティング処理を行った場合に間接歯髄保護処置の30点を準用して算定する。

特定社保講習会の開催

昨年の集団的個別指導を受けた者を対象に11月28日(木)に特定社保講習会を開催する。

【医療管理】(林常務理事)

三重県移住・就業マッチング支援事業案内

三重県は、5年以上東京23区に在住していたか、移住する直前に連続して5年以上東京圏(一部地域を除く)に在住しかつ東京23区に通勤していた人が、三重県に移住しマッチングサイトに掲載された法人に就職した場合に移住支援金を給付する制度を開始した。法人であれば歯科医療機関も登録可能。実施市町は要確認。

歯科技工料調査への協力依頼

厚労省が歯科技工料の調査を実施する。歯科医療機関は全国で無作為抽出された1,300施設が対象となる。歯科診療報酬の基礎資料となるため協力されたい。

キャッシュレス事業者との契約

医療機関におけるキャッシュレス決済については、日医・日歯・日薬が先に行ったアンケートをもとに、三師会が手数料の料率、端末導入の支援等について交渉中である。個別の契約については慎重に対応されたい。

診療用放射線の安全利用のための指針策定に関するガイドライン

歯科診療所において求められる対応は「診療用放射線に係る安全管理のための責任者の配置」「診療用放射線の安全利用のための指針の策定」「放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全利用のための研修の実施」の3点。当該ガイドラインについては県歯ウェブサイト会員専用ページに掲載しているので参照されたい。

医療事故調査制度の現況報告(7月・8月)

8月末時点での医療事故報告が累計1,472件、院内調査結果報告が累計1,133件、相談件数が累計7,583件、センター調査依頼件数が累計102件。

19年度第1回医療管理講習会

12月8日(日)に医療税制をテーマに開催予定。講師は三重県歯の植村公順顧問税理士と日歯の税務・青色申告委員会中村勝文委員長。

19年度第2回医療管理講習会

3月1日(日)開催予定。

【福祉厚生】(伊藤理事)

三歯協同組合主催医業経営セミナー

12月8日(日)に医業経営セミナー「院長とクリニックを守る各種対策」を開催する。税理士や社会保険労務士が講演する。

【広報情報】(加藤理事)

第24回三重県歯科保健大会の県民告知

11月7日(木)に三重テレビの地域情報番組

『Mieライブ』内の三重県歯提供コーナー「歯っぴーデー」に伊藤理事が生出演し県民に告知する。11月8日(金)には日歯との共同事業である「いい歯の日」企画を活用し中日新聞三重版及び伊勢新聞に広告掲載。その他、NHKの情報番組内でも告知される予定。

【災害時対応・体制室】(稲本専務理事)

セコム安否確認システムの登録状況

10月25日(金)現在の登録状況は会員数853名中777名(91.09%)。

台風15・19号等による被害状況及び義援金募金

県歯会員からの被害報告は、9月上旬の大雨によるものが床下浸水等6件、台風19号によるものが屋根一部損壊、雨漏り等5件、10月18日の大雨によるものが床下浸水等2件。台風15・19号については東日本等で水没等の大きな被害が出ていることから、日歯は義援金を募ることとした。三重県歯で取りまとめのうえ日歯で送金するので、協力願いたい。

協議事項

郡市会長からの提案事項について



岩田会長(桑員)からは、①市町の妊婦歯科健診の実施状況 ②フッ化物洗口事業のマンパワー対策 ③周術期口腔機能管理の医科点数表上の評価一等について質問が出された。

①及び②については福森専務理事が資料を示して回答。妊婦歯科健診は県下29市町のうち、15市町で実施されている。受診率は地域や実施方法によりばらつきはあるが、概ね20～30%。フッ化物洗口は熊野市や松阪市を先頭に小学校

【スポーツ歯科PT】(福森専務理事)

スポーツデンティストスキルアップ研修会

11月14日(木)に三重県歯公認スポーツデンティストを主な対象としたスキルアップ研修会を開催する。講演は「ドーピングの傾向と注意点～現在の三重県の取り組みと歯科医師が気をつけるべき薬剤について～」、「スポーツ現場における救急処置：脳震盪・頸椎損傷を中心に」の2題。担架(Scoop Board)を使用した救急搬送の訓練を含む内容となる。

21年三重とこわか国体等における医療救護活動

21年に開催される三重とこわか国体及びとこわか大会に向けて、三重県の国体局担当者にスポーツにおける歯科医師の役割について説明し、三重県歯公認スポーツデンティスト養成事業についても紹介した。20年に実施されるリハーサル大会(プレ国体)にも開催市町の理解が得られれば歯科医師を派遣したいと考えている。

にも広がり始めており、齋藤会長(南紀)や長井会長(松阪)からは教育委員会や学校との交渉状況等が報告された。③に対しては前田専務理事が回答。診療情報提供料の加算点数である「歯科医療機関連携加算」及び手術への加算点数である「周術期口腔機能管理後手術加算」について算定状況も含め解説された。

秋本会長(亀山)は、10月に愛知県でコ・デンタルスタッフの業務範囲に関わる歯科医師法違反等で歯科医師が逮捕された事例が2件あったことを受け、歯科衛生士や歯科助手の業務範囲に係る会員指導のあり方や医療事故への対応について質問。これに対し、稲本専務理事が逮捕事例の詳細について報告。歯科衛生士と歯科助手の業務範囲等を遵守して診療に当たるように注意を促すとともに、医療事故については歯科衛生士・歯科技工士を対象とした医療従事者賠償責任保険への加入も推奨された。

(広報情報委員・二井敏光 記)

2019年度

November

第10回理事会

2019年11月7日（木）

三重県歯科医師会館

設備整備事業の申請者を決定

11月7日（木）、19年度第10回理事会が開かれた。議事では19年度地域口腔ケアステーション設備整備事業の申請者を決定。この後、県歯から県へ申請を行い、所定の手続きを経てVE（嚙下内視鏡）や口腔機能向上機器の購入に係る補助金が交付される予定で、今年度の申請総額は約900万円に達する見込み。公衆衛生委員会からは、医科歯科連携事業の一環である糖尿病患者向けの歯周病に関するポスター及びリーフレット案が示された。完成次第、医科医療機関に配布・掲示される。また、協議では次年度の事業計画についての議論を開始。稲本専務理事からは、既存の事業について目標達成度を評価しながら継続の必要性について精査するよう指示があった。



報告等

●三役報告

【出席会議】日学歯第98回臨時総会（10/2）、三重県国保連合会19年度国保トップセミナー（10/9）、三重産業保健総合支援センター19年度運営協議会（10/24）、19年度東海北陸厚生局管内歯科医師会担当者連絡協議会（10/29）、三重県学校保健会19年度第2回理事会（10/17）、第78回日本公衆衛生学会総会（10/25）、三重県健康管理事業センター理事会（10/31）、東海信越地区第1回会長・専務理事連絡協議会（10/26）

●社会保障委員会

【事業活動】社保自主懇談（直前）（10/10）、個別指導（10/17）、社保自主懇談（事前）（10/31）
【出席会議】社保・国保審査委員会合同協議会（10/24）

●医療管理委員会

【事業活動】BLSヘルスケアプロバイダーコー

ス（10/20）、第2回医療管理委員会（9/12）【出席会議】第2回三重県感染対策支援ネットワーク運営会議（10/9）、第7回歯科技工士の養成・確保に関する検討会（10/31）、名古屋国税局管内税務指導者協議会（10/31）【報告事項】永年勤続表彰、20年度歯科助手講習会、歯科相談6件

●学術委員会

【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報（HP）、郡市会学術研修会助成金事業、「第3回嚙下機能評価研修会～嚙下内視鏡検査実習～」(日歯、2/9)、第3回医科・歯科合同研修会（12/22）、日本補綴歯科学会認定修練医・認定医制度新設の周知（日歯）、第2回学術研修会（2/9）抄録、日本糖尿病協会登録歯科医制度関係最新情報

●公衆衛生委員会

【事業活動】「子ども応援！わくわくフェスタ

2019」(10/5)、19年度高齢者在宅訪問歯科健康診査事業に係る講習会(10/17)、オレンジリボンキャンペーン「心をつなごう!はっぴーオレンジデー」(11/4)【出席会議】三重県医療審議会19年度第1回健やか親子推進部会(10/4)、第83回全国学校歯科保健研究大会(10/17・18)、第24回三重県歯科保健大会第3回実行委員会(10/24)、「岐阜県民の歯・口腔の健康づくり条例」改正シンポジウム(10/27)【報告事項】歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール中央審査結果、後期高齢者歯科健診対象者への電話受診勧奨、地域口腔ケアステーションサポートマネージャー第1期分支払状況、第11回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座(歯科衛生士対象、1/12)抄録、学校歯科保健先進地視察研修(1/16)案内、「食と健康フォーラム」(1/19)抄録案、三重県医科・歯科連携推進人材養成事業「第9回医科・歯科連携推進人材養成研修会」(1/26)抄録、第11回みえ歯ートネット研修会(2/16)抄録、『ママごはん』冬号、牛乳アレルギー児におけるフッ化物洗口液誤飲時の対応【協議事項】糖尿病患者医科歯科連携、次期「三重県教育ビジョン(仮称)」中間案へのパブリックコメント募集

●広報情報委員会

【事業活動】第2回広報情報委員会(10/24)、第24回三重県歯科保健大会報道回り(10/31)、FM三重(10月分放送、11月分収録)【出席会議】三重テレビ『Mieライブ』(11/7伊藤理事出演)打合せ(10/24)、「いい歯の日」企画広告打合せ(10/3)【報告事項】第24回三重県歯

科保健大会の日歯ウェブサイトでの告知【協議事項】日歯の日本産婦人科学会との連携に係る取組みの周知、『日歯広報』コラム「都道府県通信」執筆依頼

●スポーツ歯科PT

【報告事項】第24回日本体力医学会東海地方会学術集会への参加(3/15)

●障害者歯科センター

【事業活動】障害者歯科センター診療実績【報告事項】インシデント・アクシデント報告1件【協議事項】20年度診療日程

●災害時対応・体制室

【事業活動】近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練(10/27)【報告事項】セコム登録状況(11/1現在)、セコム安否確認訓練の実施(11/12)【協議事項】四師会による災害時の医療救護活動に関する協定の締結

●日歯委員会等

【社会保険委員会】中央社会保険医療協議会第2回調査検討委員会(10/4)【税務・青色申告委員会】名古屋国税局管内税務指導者協議会(10/31)【医療管理委員会】四国歯科医師会役員連絡協議会(10/31)【図書管理運営委員会】第1回図書管理運営委員会(10/23)【学術委員会】第2回学術委員会(9/25)【日学歯】日学歯第7回理事会(10/16)

●その他

【出席会議】介護給付費等審査委員会(9/24)、19年度東海信越地区役員連絡協議会各分科会結果報告(10/26)【報告事項】第24回三重県歯科保健大会の日程・分担等の詳細(11/10)

協議事項

- ・ 20年度事業計画

議題

- 第1号：19年度地域口腔ケアステーション設備整備事業に対する県行政への申請者の決定
- 第2号：入会申請／齋藤拓実(桑員)
- 第3号：互助会入会申請
- 第4号：互助会給付(10/3～11/6申請分)



みえ歯ートネット通信

<http://www.dental-mie.or.jp/heartnet/>

from 障害者歯科センター

第36回日本障害者歯科学会総会・学術大会 『「いのち」を育み、支える歯科医療』



11月22日(金)～24日(日)、岐阜市長良川国際会議場で第36回日本障害者歯科学会総会・学術大会が開かれた。今回は『「いのち」を育み、支える歯科医療』という大会テーマの下、全てのライフステージを見据えた障がい児・者への訪問診療の導入、摂食嚥下リハビリテーションや医療的ケア児への取り組み、地域包括ケアシステムや終末期医療へのアプローチ等に関する特別講演やシンポジウムが企画された。

シンポジウム1「小児在宅医療における歯科の役割を考える」では、座長の愛知県医療療育センター中央病院・三浦清邦副院長が小児在宅医療の現状について、日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックの田村文誉教授が小児在宅歯科医療の現状について概説。その後3名の歯科

医師と2名の歯科衛生士が各々の立場から発表を行った。

周産期医療の進歩により、新生児救命率や周産期救命率が向上していることに加え、周産期以降の合併症に対する医療の発展も顕著であり、今後医療的ケア児の増加が見込まれている(三重県でも0～19歳で約240人(18年度)の医療的ケア児がいる)。こうした医療的ケア児に対して、歯科はどのように関わっていけばよいかがこのシンポジウムのテーマ。医療的ケア児には、小児科医師・歯科医師・看護師・臨床心理士・歯科衛生士等、多職種連携が必要であり、歯科医師がその中の一員として口腔健康管理を担当できることが理想だろう。そのためには、医療・福祉・教育・保健等、様々な分野の専門職が連携して、家族への生活支援や地域における小児包括支援体制を構築していくことが重要であると示唆された。

20年7月5日(日)には三重県歯科医師会館で、第12回東海障害者歯科研究会が開催されることが決まっており、三重大学医学部附属病院小児科の岩本彰太郎准教授による小児在宅医療の現状についての講演も予定されている。多数の三重県歯科会員が参加することを期待している。

(障害者歯科センター長・武山 一 記)

2019年分所得税等の確定申告で注意すべき諸点について

Q：まもなく所得税・消費税の確定申告の時期を迎えます。確定申告で注意すべき諸点について教えてください。

A：19年10月31日に開催された日本歯科医師会主催の名古屋国税局管内税務指導者協議会において出席された名古屋国税局個人課税課長から、次の「誤りの多い事例」などを示され、会員の19年分所得税・消費税の確定申告における適正申告の指導方の要請がありました。

特に、課税事業者の19年分消費税の確定申告は、複数の消費税率の取引により計算されることとなり、課税事業者は、日々の記帳において、従前からの課税取引、非課税取引、不課税取引の区分経理のほかに、19年9月30日以前と10月1日以後の消費税率、地方消費税率が異なるため、課税取引の課税売上高、課税仕入高等、売上返還等の対価、貸倒金について、旧消費税率(8%)、軽減税率(8%)、標準税率(10%)に区分経理して、それぞれ集計する必要があること、また、簡易課税制度適用者は、課税売上の事業区分経理が必要であることを強調されました。そして、区分経理に対応した請求書及び帳簿の保存が必要であると説明されました。

消費税の申告の基礎は、日々の正確な区分経理が重要な要素となりますので注意しましょう。

適用時期 区分	19年9月30日まで (旧税率)	19年10月1日から	
		軽減税率	標準税率
消費税率	6.3%	6.24%	7.8%
地方消費税率	1.7% (消費税額の17/63)	1.76% (消費税額の22/78)	2.2% (消費税額の22/78)
合計	8.0%	8.0%	10.0%

1 所得税関係の誤りの多い事例

(1) 売上(収入)関係

- ① 自由診療収入の一部分や保険診療窓口収入の一部分が申告漏れであった。
- ② 市区町村から委託された歯科検診等に係る収入の一部分が申告漏れであった。
- ③ 撤去冠、金属くずの売却収入の一部分が申告漏れであった。

(2) 必要経費関係

次のような支出は、事業所得金額の計算上必要経費となりません。

- ① 業務でない歯科医師本人一人や家族の飲食費を交際費として経費にしていた。
- ② 生活用の乗用車に係る減価償却費、自動車税、保険料、修理費、ガソリンなどを経費としていた。
- ③ 家族で海外・国内旅行をした費用を旅費交通費や福利厚生費として経費にしていた。
- ④ 歯科医業に従事していない家族に支払った給料を専従者給料としていた。

2 消費税関係の誤りの多い事例

- (1) 通院用の乗用車の下取りは、課税売上であるにもかかわらず申告していなかった。
- (2) 香典、商品券、ビール券の購入など非課税等取引が課税仕入に含まれていた。
- (3) 簡易課税申告における課税取引の事業区分(物品販売：第2種、事業用資産の譲渡：第4種、自由診療収入・金属くず等の売却収入：第5種)が行われていなかった。



10月・11月会務日誌

Association Diary

10月

- 1日 常務理事会開催
- 2日 日本学校歯科医会第98回臨時総会に大杉会長、福森常務理事出席
- 3日 第9回理事会開催
- 4日 三重県医療審議会第1回健やか親子推進部に福森常務理事出席
- 5日 子ども応援！わくわくフェスタ2019に山本理事出席
- 6日 志摩市防災訓練（災害医療訓練）に熊谷災害時対応・体制室副室長出席
- 9日 三重県国保連合会国保トップセミナーに大杉会長出席
第2回三重県感染対策支援ネットワーク運営会議に桑名理事出席
- 10日 三重テレビ「Mieライブ」に大杉会長出演
第2回産業保健研修会に羽根副会長出席
- 16日 日本学校歯科医会第7回理事会に福森常務理事出席
- 17日 三重県学校保健会第2回理事会に羽根副会長出席
高齢者在宅訪問歯科健康診査事業に係る講習会に伊藤理事出席
- 17・18日 第83回全国学校歯科保健研究大会が山口県で開催され大杉会長、稲本専務理事、伊東理事出席
- 18日 三重県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会に羽根副会長出席
- 19日 第38回日本小児歯科学会中部地方会大会・総会に大杉会長出席
- 20日 BLSヘルスケアプロバイダーコース（G2015）開催
- 23日 日本歯科医師会第1回図書管理運営委員会に蛭川理事出席
- 24日 第24回三重県歯科保健大会第3回実行委員会、第2回広報情報委員会開催
社保・国保審査委員会合同協議会に大杉会長、稲本専務理事、前田常務理事、川瀬理事、鳴神理事、新理事出席
三重産業保健総合支援センター運営協議会に大杉会長出席
- 25日 第78回日本公衆衛生学会総会が高知県で開催され羽根副会長出席
- 26日 東海信越地区歯科医師会第1回会長・専務理事連絡協議会が愛知県で開催され大杉会長、稲本専務理事出席
東海信越地区歯科医師会役員・同国保組合役員・同連盟役員合同連絡協議会が愛知県で開催され全役員出席
- 27日 近畿府県合同防災訓練に大杉会長、伊藤理事、三重県警察歯科医会・熊谷副会長出席
三重県歯科衛生士会総会・研修会で熊谷災害時対応・体制室副室長講演
岐阜県民の歯・口腔の健康づくり条例改正シンポジウムに大杉会長、羽根副会長、稲本専務理事、福森常務理事出席
- 29日 東海北陸厚生局管内歯科医師会担当者連絡協議会が愛知県で開催され、大杉会長、稲本専務理事出席
- 31日 第3回郡市会長会議開催
三重県健康管理事業センター理事会に服部副会長出席
名古屋国税局管内税務指導者協議会に太田常務理事、林常務理事、桑名理事出席
第7回歯科技工士の養成・確保に関する検討会が東京都で開催され桑名理事出席



11月

- 2・3日 日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会（スポーツ歯科医学Ⅱ）が東京都で開催され鳴神理事、新理事出席
- 4日 オレンジリボンキャンペーン「心をつなごう！はっぴーオレンジデー」に伊藤理事出席
- 5日 常務理事会開催
- 7日 第10回理事会開催
第2回三重県後期高齢者医療広域連合運営協議会に服部副会長出席
三重県医療安全推進協議会に桑名理事出席
- 10日 第24回三重県歯科保健大会開催
- 13日 都道府県歯科医師会専務理事連絡協議会に稲本専務理事出席
- 14日 三重県歯科医師会スポーツデンティストスキルアップ研修会開催
第62回三重県学校保健安全研究大会に大杉会長、羽根副会長、福森常務理事、伊藤理事、山本理事、県歯公衆衛生委員等出席
- 16日 口腔ケア教室開催
- 16・17日 日本歯科医師会災害歯科保健医療体制研修会に伊東理事、川瀬理事、三重県医療保健部健康づくり課・芝田課長、三重県歯科衛生士会・久保田副会長出席
- 18日 三重県医師会トップセミナーに大杉会長、稲本専務理事出席
- 20日 日本学校歯科医会第8回理事会に福森常務理事出席
- 21日 日本歯科医師会第2回医療管理委員会に桑名理事出席
- 23日 第44回睦寿会総会・親睦会開催
第4回日本子ども虐待防止歯科研究会学術大会が千葉県で開催され山本理事出席
- 23・24日 第36回日本障害者歯科学会総会および学術大会が岐阜県で開催され武山障害者歯科センター長、齋藤先生、山根先生出席
- 26日 いなべ警察署歯科セミナーで伊東理事講演
- 28日 第2回社会保障委員会、特定社保講習会開催
地域医療構想に関する国との意見交換会に稲本専務理事出席
- 30日 第30回三重NST研究会世話人会・学術集会に大杉会長、福森常務理事出席

会員消息 Member's News

本会会員数 (12月1日現在)

正会員第1種（一般）	696名
正会員第2種（勤務）	30名
正会員終身	121名
準会員第3種（法人）	9名
準会員第4種（直属）	2名
長期の疾病等の会員	2名
計	860名

日歯会員数 64,903名 (10月31日現在)

新入会員



さいとうたくみ
齋藤拓実先生（11. 1付）

診 桑名市大字大仲新田

字宮前171-1

桑名COCO歯科・矯正歯科

電話 0594-41-4618

FAX 0594-41-4617

（桑員）



いのうえこういち
井上浩一先生 (12. 1 付)
診いなべ市員弁町石仏
1906-4
K I デンタルクリニック
電 話 0594-84-5960
F A X 0594-84-5961
(桑員)

謹んでおくやみ申し上げます



伊藤和夫先生 (津)
去る10月9日、お亡くなり
になりました。
享年71歳

診療所所在地変更

臼井秀治先生 (四日市)
臼井聡美先生 (四日市)
四日市市浜田町12-16-2



飯田陽一先生 (津)
去る10月22日、お亡くなり
になりました。
享年84歳

診療所名変更

渡部新二先生 (四日市)
医療法人 渡部会 わたなべ歯科クリニック
畑中嗣生先生 (松阪)
はたなか歯科こども歯科



佐田浩孝先生 (伊勢)
去る11月16日、お亡くなり
になりました。
享年55歳

F A X 番号変更

大瀬周作先生 (松阪)
(診) F A X 0598-82-3228

診療所廃止

陣田清士先生 (四日市)



新入会員プロフィール

Rookie's Profile

さいとうたくみ
齋藤拓実先生（桑員）

1. 学歴

高校 三重県立四日市高等学校
大学 愛知学院大学（2010年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

2011年4月 愛知医科大学病院

3. メッセージ

はじめまして。桑名COCO歯科・矯正歯科の院長を務める齋藤拓実と申します。この度、ご縁があり出身である三重県で開業することになりました。

桑名市は、子育てのしやすい街をスローガンに掲げる素敵な地域ですが、全国同様、

徐々に高齢化が進んでいます。今後は、自分では通院が困難な患者さんが増えていくと思います。そうした患者さんやそのご家族の手助けになれる、信頼される歯科医師になりたいと思います。

また、私たちは南海トラフ地震やそれに伴う津波といった大規模災害にも備える必要があります。万一の場合、物資や医療提供の拠点や中継基地になり、地域住民の拠り所となれる歯科医院を目指して参ります。

今後とも何卒、御指導の程、よろしくお願い申し上げます。

いのうえこういち
井上浩一先生（桑員）

1. 学歴

高校 私立上宮学園上宮高等学校
大学 朝日大学（2005年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

2006年4月 朝日大学附属病院
2007年4月 光風会 オー,デンタルクリニック
ナゴヤドーム前歯科診療所
2010年10月 もりした歯科
2016年1月 ひろいし歯科

3. メッセージ

この度、入会させていただきました井上浩一です。出身は奈良県なので、三重県は海辺

でのキャンプや伊勢参り等、子どもの頃から身近な場所でした。

いなべ市で開業することになり、この地域の医療に貢献し、少しでも患者さんが口の中に関心を持てるように努力します。

勤務医時代と比べ自分で決めることが多く、たくさん悩みもありますが、先輩方からアドバイスをいただけたら嬉しいです。

趣味は、夏になると、水上バイクや船で海に出ることなので、誘っていただけるとありがたいです。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。



告知板

Information

中部歯内療法学会 2020スプリングセミナーのご案内

テーマ：歯内療法をどのように補綴につなげるか？

日 時：2020年3月20日（金・祝） 10：00～16：30

会 場：愛知県産業労働センター（ウインクあいち） 902会議室（9階）

演 題：テーマ講演1

坂東 信先生（札幌市開業）

テーマ講演2 DHセッション

田中亜生先生（上海マロクリニック アイスマイル 歯科衛生士）

テーマ講演3

平井 順先生（川崎市開業）

参加費：JEA会員 事前登録 6,000円（当日申し込み 8,000円）

一般参加 8,000円（当日申し込みのみ）

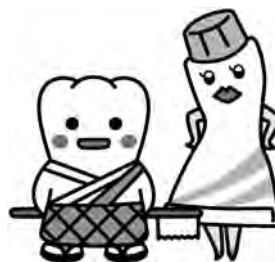
研修医・大学院生 2,000円（当日申し込みのみ）

コデンタルスタッフ・学生 無料

☆☆ 一般参加大歓迎 日本歯内療法学会の会員でなくてもOKです ☆☆

事前登録締め切り：2020年3月9日（月）

お問い合わせ：事務局（愛知学院大学）山口正孝 TEL 052-751-7181（内 5362）





会員の広場 Member's Plaza

第44回睦寿会総会・親睦会開催

2019年11月23日（土・祝）

ホテルグリーンパーク津

11月23日（土・祝）、第44回睦寿会総会・親睦会が開かれ、今年度新たに入会した4名を含む15名の睦寿会会員が出席しました。総会では稲本専務理事が進行を務め、冒頭の挨拶に立った大杉会長は、新執行部がワンチームとなって会務に当たると述べた他、中医協の動向や地域包括ケアシステムにおける多職種との連携等の進展について説明しました。続いて峰 正博顧問(伊賀)、田所 泰顧問(伊勢)から挨拶があり、それぞれ新執行部への期待と出席者のこれまでの会務への協力について謝意が示されました。懇親会では伊藤理事が司会を務め、羽根副会長の開会の挨拶に続いて山根監事による乾杯の発声で開宴。美味しい食事に舌鼓を打ちながら、懐かしい思い出や歯科医師会の歴史を巡る話題等に花が咲き、一同、楽しいひと時を過ごしました。最後に、辻副会長が閉会の辞を述べ、お開きとなりました。

(理事・伊藤法彦 記)





互助会の現況

(19年10月1日～31日)

第1部（疾病共済）		
入会 2名	退会 1名	累計 712名
収入累計 203,220,961円	{ 繰越 203,220,961円 入金 0円	
支出 600,330円		
残高 202,620,631円	{ 定期 138,000,000円 普通 64,620,631円 国債 0円	

療養給付：2名

死亡給付：0名

第2部（火災・災害共済）

入会 2名	退会 1名	累計 717名
収入累計 168,535,743円	{ 繰越 168,535,743円 入金 0円	
支出 0円		
残高 168,535,743円	{ 定期 110,690,000円 普通 57,845,743円	

災害給付：0名

(19年11月1日～30日)

第1部（疾病共済）		
入会 1名	退会 2名	累計 711名
収入累計 202,620,961円	{ 繰越 202,620,631円 入金 330円	
支出 1,500,000円		
残高 201,120,961円	{ 定期 138,000,000円 普通 63,120,961円 国債 0円	

療養給付：2名

死亡給付：1名

第2部（火災・災害共済）

入会 1名	退会 2名	累計 716名
収入累計 168,535,908円	{ 繰越 168,535,743円 入金 165円	
支出 0円		
残高 168,535,908円	{ 定期 110,690,000円 普通 57,845,908円	

災害給付：0名

三重県歯科医師協同組合

購入希望の組合員の方は、当組合宛にお申し込み下さい。

三重県歯科医師協同組合ホームページからオンラインでも購入できます。

歯科経理帳	(12か月分)	950円
収支日計表	(100枚綴)	620円
患者日計表	(100枚綴)	620円
領収書	(100枚綴)	470円
その他、保険診療情報提供文書各種等		

全協：19年度第1回理事長・役員研修会

10月2日(水)、都内アルカディア市ヶ谷で全協(全国国保組合協会)の19年度第1回理事長・役員研修会が開かれ、三歯国保組合から中井理事長、蛭川常務理事、寺辺監事が出席した。第一部では、人口減少対策総合研究所理事長の河合雅司氏が「未来の年表～人口減少日本で起きること～」と題して講演。少子高齢化は避けられない事実であり、目先の対策では長期的に体制を維持することは不可能であるとし、「既存の考え方を捨て、新たな体制作りを目指す必要がある」と説明。外国人労働者の受入れや地域包括ケアシステムについても慎重な考え方を示した。第二部では、厚生労働

省保険局国民健康保険課長の熊木正人氏が「国民健康保険組合を巡る最近の動向」と題し講演。国民健康保険の財政支援のために国費が投入されていることを受け、保険者として国保の安定化を目指す役割を果たす必要があると説明。具体的には、特定健診の受診率や、特定保健指導の実施率増加等に積極的に関与することや、糖尿病性腎症の重症化予防等への対応が求められると述べた。21年3月に導入が予定されている「オンライン資格確認」に関連し、マイナンバーカードの普及に対する協力要請にも言及した。

東海信越地区歯科医師国保組合役員連絡協議会／名古屋で開催



10月26日(土)、愛知県歯科医師会館で東海信越地区歯科医師国保組合役員連絡協議会が開かれ、中井理事長、熊谷常務理事、今村理事、宮田監事が出席した。協議会に出席した東海信越6県のうち、愛知・静岡・三重は歯科医師国保組合を独自運営しているが、新潟・長野・岐阜は全国歯(全国歯科医師国保組合)に支部として所属しており、この日の会合には全歯連(全国歯科医師国保組合連合会)の山口誠一郎会長と全国歯の三塚憲二理事長も参加した。

協議会は、▽特定健診・特定保健指導受診率の目標到達に向けた対策▽データヘルス計画の進捗状況(分析結果に基づく課題とその対策)▽保健事業における健康管理促進事業の取組み▽歯科健診の実施▽全歯連から全協・国保中央会等を介しての国への働き掛け▽被保険者の確保や維持への対応策▽組合の事業等の周知方法一等。特定健診・特定保健指導も含めたデータヘルス計画でのPDCAサイクルにおける分析結果に基づく保健事業や、保険者インセンティブに対する取組み等については、具体的に各種検診及び予防接種への補助や健康管理促進事業への助成等について活発な意見交換が行われた。

この他、21年開始予定の「オンライン資格確認」や「特定健診データの紹介」等の導入に当たり、歯科ではオンライン請求が医療機関数ベースで20%前後の状況にあることも踏まえ、今後の環境整備等の対応についても話し合われた。

国保組合被保険者全国大会及び国保制度改善強化全国大会に役員が参加



20年度予算編成を控え、11月27日(水)に東京・永田町の憲政記念館で全協（全国国保組合協会）が主催する国保組合被保険者全国大会が開かれ、三齒国保組合から中井理事長と稲本副理事長、熊谷常務理事が出席した。大会終了後、出席者らは、国保組合の組織及び財政基盤の確立を求めて、要望書を携えて厚労省及び衆・参議員会館等へ

向かい陳情活動。三齒国保役員は、川崎二郎元厚生労働大臣、三ツ矢憲生元財務副大臣、田村憲久元厚生労働大臣、三重選挙区の吉川ゆうみ参議院議員にそれぞれ面会。独自の要望書を本人に手交し、その内容について説明した。

中井理事長は翌11月28日(木)、港区虎ノ門の日本消防会館（ニッショーホール）で開かれた、国保中央会等が主催する国保制度改善強化全国大会にも出席。大会では、岡崎誠也大会会長（高知県高知市長）の主催者挨拶に引き続き大会宣言がなされ、議事では、国保制度を持続可能なものとするための財政基盤強化を訴える「決議文」が満場一致で採択された。大会終了後には前日と同様にグループごとに、与野党及び厚労省、総務省に代表陳情に向かった。

三齒協同組合が医業経営セミナーを開催



12月8日(日)、三齒協同組合の主催する医業経営セミナーが開かれた。今回で3回目の開催。この日のセミナーでは、税理士法人鶴田会計の野田智成氏と、鶴田会計グループに属するワンネス社会保険労務士法人の土江啓太郎氏が「院長と

クリニックを守る各種対策」と題して講演。第一部では野田氏が、「個人事業の事業承継対策」について講演し、新設された個人版事業承継税制の概要から、その活用とポイントを示し、医療法人を活用した事業承継までを解説。まずは財産診断をして現状を把握することの大切さを説いた。第二部では土江氏が登壇し、「クリニックを守る人事労務」について解説。具体的な相談事例を示しながら、就業規則の意義や採用に必要な対策について解説した。参加した会員らは具体的なアドバイスに熱心に耳を傾けていた。講演終了後も講師に相談する姿も多く見られ、政府が働き方改革を推進する時勢にも合った有意義な講演会となった。

国保組合の現況

2019年8月／9月

保険給付状況

		19年8月		
		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,543	57,389,189	40,386,314
	累計	18,508	279,052,775	196,654,818
療養費	当月分	92		257,193
	累計	455		1,630,877
高額療養費	当月分	46		3,349,240
	累計	190		21,450,788
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	4		1,680,000
	累計	18		7,560,000
葬祭費	当月分	—		—
	累計	2		300,000
食事療養標準負担額減額差額	当月分	1		4,300
	累計	3		12,250
傷病手当金	当月分	17		782,000
	累計	78		3,751,000

		19年9月		
		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,477	52,575,295	37,069,066
	累計	21,985	331,628,070	233,723,884
療養費	当月分	85		315,071
	累計	540		1,945,948
高額療養費	当月分	32		2,937,226
	累計	222		24,388,014
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	6		2,520,000
	累計	24		10,080,000
葬祭費	当月分	—		—
	累計	2		300,000
食事療養標準負担額減額差額	当月分	—		—
	累計	3		12,250
傷病手当金	当月分	12		503,000
	累計	90		4,254,000

収支状況

		19年度19年9月累計
区分	金額	
歳入合計	986,621,803	
歳出合計	427,840,691	
収支差引残高	558,781,112	

		19年度19年10月累計
区分	金額	
歳入合計	1,076,120,325	
歳出合計	531,033,498	
収支差引残高	545,086,827	

被保険者異動状況

		19年10月31日現在	
区分	被保険者数	前月との比較	
組合員	2,790	△ 2	
家族	1,440	6	
計	4,230	4	

		19年11月30日現在	
区分	被保険者数	前月との比較	
組合員	2,790	0	
家族	1,429	△ 11	
計	4,219	△ 11	

編集後記

Editor's Note

今期から三重県歯の広報情報委員を委嘱され、初めて郡市会長会議に取材者として参加しました。役員や郡市会長らが国や県・市町の行政に対する働き掛けや様々な事業・研修会等、歯科界の発展に力を尽くしていることが間近で感じられました。

昨年は、9・10月と台風に伴う大雨により各地で大規模な被害が出る等、決して人ごとではないと感じる災害も相次ぎましたが、平成から令和に代わり、即位の儀や祝賀パレード等の歴史行事も

執り行われました。今年は東京オリンピックが開催される等、国民に活気を与えるイベントが控えています。21年度には三重県でも、とこわか国体の開催が決まっており、今後マウスガードや正しい咬み合わせ等、歯科医師という立場でスポーツに携わる機会も増えてくると思います。

祭典を楽しみつつ、将来のスポーツ界への一助となれるよう、少しでも貢献したいと思います。

(広報情報委員・二井敏光 記)

三重県歯科医師会無料職業紹介所について

三重県歯科医師会では厚生労働大臣の許可を受けて、歯科医療技術者（歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手）を対象とした無料職業紹介事業を行っています。職業紹介を希望される場合、求職は働く意欲がある方なら常勤、パートを問いません。申し込みにより希望と能力に応ずる職業に速やかに就くことができるよう極力お世話をいたします。

●求職者の場合

- ・ 所定の求職票に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- ・ 来館または電話にて、求人者の閲覧をする。
- ・ 条件が合えば面接を行う。

●求人者の場合

- ・ 所定の求人申込書に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- ・ 来館または電話にて、条件の合った求職者を探す。
- ・ 合否結果については、当紹介所に結果報告する。



※ 下記へ連絡いただければ関係書類を送付します。

公益社団法人 三重県歯科医師会
 歯科医療技術者等無料職業紹介所
 〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2
 TEL 059-227-6480

詳しくはWEBで！

検索

三重県歯科医師会の皆さまへ

医療従事者 (歯科衛生士・歯科技工士) 賠償責任保険のご案内

—賠償責任保険普通保険約款 医療従事者特約条項—



この保険の特長

- ①皆さまが経営する歯科診療所に勤務される医療従事者の方(歯科衛生士・歯科技工士)全員が補償の対象となります。(一部の医療従事者のみを補償の対象とすることはできません。)
- ②過去に退職された医療従事者の方も対象となります。
- ③補償の対象となる医療従事者の方の署名・捺印などが不要です。
- ④医療従事者の方の入れ替わりの手続き(保険期間中途での通知等)が不要です。
- ⑤ご加入いただいた歯科診療所の業務を遂行することによって発生した事故のみお支払いの対象となります。
- ⑥法律上の損害賠償金のほか弁護士費用や訴訟費用を補償します。

Kawaryo Group



歯科用スクラップを どうしていますか？

現在、環境問題は、地球規模となり、人々の生活に大きく関わっています。一人一人ができること、市や国ができること、スケールは様々ですが、企業ができることの一つとして、限りある資源を大切にそして有効に利用していくことがあります。このリサイクルについて、独自のシステムを開発、構築し、環境保全や人々に喜ばれる事業を目指しています。

Kawaryo Group Organization

貴金属及び歯科用撤去冠のリサイクル

(株)ICAWARYO PGM

静岡本社 / 〒431-1103 静岡県浜松市西区湖東町5850-2F
TEL 053-486-2660 FAX 053-486-2665
東京営業所 / 〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-14-20 植山ビル101号室
TEL 03-6715-8604 FAX 03-6715-8065
<http://www.kawaryo-pgm.jp> info@kawaryo-pgm.jp

貴金属及び歯科用撤去冠のリサイクル

ユタカ(株)

〒604-8461 京都府京都市中京区西ノ京中保町10-1
TEL 075-406-7341 FAX 075-406-7342
<http://yutaka-t.com>

貴金属及び歯科用撤去冠のリサイクル

(株)ピージーエム・プラス

〒770-0006 徳島県徳島市北矢三町3-1-55
TEL 088-679-8162 FAX 088-679-8163

貴金属及び歯科用撤去冠のリサイクル

(株)SANKO

〒577-0016 大阪府東大阪市長田西1-1-17
TEL 0120-017-335 FAX 011-351-1174
<http://heinz-company.jp>

貴金属及び歯科用撤去冠のリサイクル

(株)ICAWARYO九州

九州本社 / 〒860-0052 熊本県熊本市西区田崎本町10-4
TEL 096-356-2578 FAX 096-274-1221
福岡営業所 / 〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎1-11-11-1F
TEL 092-409-2418 FAX 092-409-2427
鹿児島営業所 / 〒891-0113 鹿児島県鹿児島市東谷山6丁目33-18
TEL 099-297-6938 FAX 099-297-6935
沖縄営業所 / 〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古2-7-12
TEL/FAX 098-897-4002
<http://www.kawaryo-q.co.jp> info@kawaryo-q.co.jp

人と地域に
寄り添い
同じ未来を
見つめる銀行。

お気軽にご相談ください。
《資産運用・住宅ローン・ビジネスローン》

百五銀行
FRONTIER BANKING

インターネットホームページ <https://www.hyakugo.co.jp/>

FRONTIER BANKING



ご存知ですか？

アサヒプリテック(株)だからできること

AMS(アサヒメタルアカウントシステム)という
金・白金・パラジウム・銀を、
それぞれ今より高く売却する方法があること
アサヒプリテック(株)の分析能力が、
世界的に評価されているということ

小さな資源を、
あらたな資産へ

gold

silver



ASAHI PRETEC

アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部/〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サビアタワー TEL(03)6270-1831 FAX(03)6270-1825 URL: <http://www.asahipretec.com>

■営業所/札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・大阪・神戸・岡山・広島・四国・福岡・鹿児島・沖縄

愛知県医療信用組合は、歯科医師のための 「相互扶助」の金融機関です。

昭和37年設立の 歯科医の歯科医による歯科医のための組合」です。

●ご預金●

- ★市中銀行より 率の高い預金
普通預金、積立預金、定期預金
- ★将来の貯蓄にメリット大 など
- ★キャッシュカードは全国の金融
機関並びに大手コンビニATMで
も引き出しできます

●ご融資●

- ★歯科医師会入会金ローン
- ★開業資金
- ★運転資金、設備資金
- ★自動車ローン
- ★後継者の学資ローン など

詳細はホームページを
ご参照ください。

愛知県医療信用組利

検索

<http://www.iryoushin.com/>

Shinkumi Bank
信用組合
しんくみ

愛知県医療信用組合

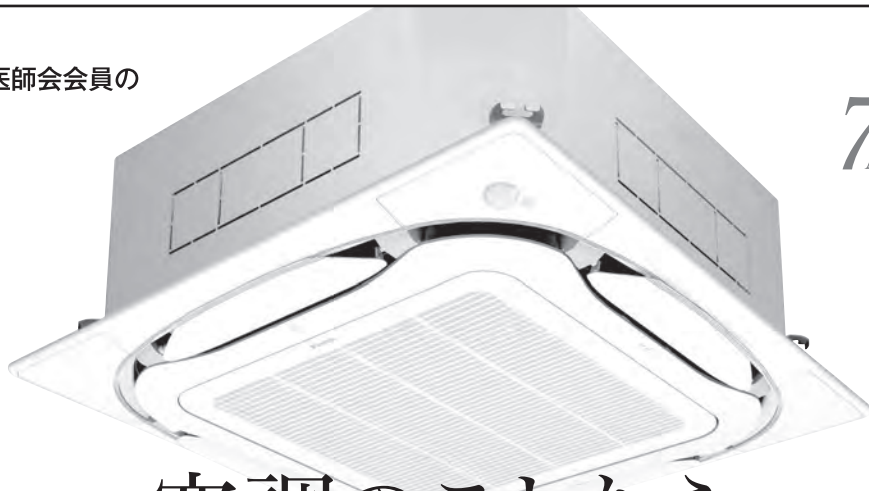
〒460-0002
名古屋市中区丸の内三丁目5番18号
愛知県歯科医師会館6階

TEL:(052) 962-9569 FAX:(052) 951-8651



三重県歯科医師会会員の
指定店様へ

73th
Anniversary



空調のことなら ダイキン特工店・東3冷凍機に おまかせください。

最適な節電プランをまごころ込めてご提案します。

9年連続
販売台数 **全国1位**

弊社は2018年度環境対策型エアコン販売台数
で9年連続全国1位を継続しています。
創業73年の実績と経験で、安心をお届けします。

※2018年10月末集計(ダイキン工業特工・特約店958社中)

10年保証

今年で16年目を迎えました10年保証
そして2014年2月より、さらなる
安心の15年保証。より長く安心して
エアコンをご利用いただけます。

User's Voice

風当たりも解消され、電
気代も以前と比べ3分
の2となり、かなり削減
できています。

山崎歯科クリニック様



10年保証もあるから、
万が一故障してもすぐ
に対応してもらえるのは
安心ですね。

兵藤歯科様



HPのトップ画面から433件閲覧できます。動画もWEBで。



最新の補助金活用・税制優遇をご案内

補助金事業部では設計・申請・施工を一貫して行い、コストカットし採択率を高めます

DAIKIN 空調の未来を考える

東3冷凍機

お問い合わせは AM9:00~PM6:00

フリーダイヤル
0120-130-047
当社HP:www.tousanreitouki.com

ZIP-FM 77.8

ZIP-FM NOW ON AIR

ナレーション:C.W.ニコル





SOMPO
ホールディングス
保険の先へ、挑む。

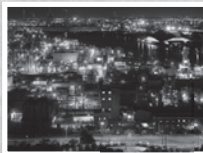
損保ジャパン日本興亜の三重県オリジナル自動車保険

安心・安全のお参りつき

『THE クルマの保険 三重』



赤目四十八滝 (写真提供:赤目四十八滝渓谷保勝会)



四日市工場夜景 (写真提供:四日市観光協会)



伊勢神宮 (写真提供:神宮司庁)



賢島 (写真提供:伊勢志摩国立公園協会)

損保ジャパン日本興亜は、三重県と「地域産業の支援等に関する包括協定」を締結し、三重県民の皆さまの安心・安全なくらしの実現に向け、協働した取り組みを行っています。

特長① 安心補償

地震・噴火・津波
車両全損時一時金特約が付帯されます！

特長② 交通安全

安心・安全のお参りつき！ 全国初！

特長③ 社会貢献

三重県の災害ボランティア活動の
支援に貢献できます！ 全国初！

【引受保険会社】



SOMPO ホールディングス | 保険の先へ、挑む。
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

三重支店 津支社 〒514-0004 三重県津市栄町3-115
損保ジャパン日本興亜ビル6F TEL 059-226-3011
公式ウェブサイト <http://www.sjnk.co.jp/>

- ★本取組みは2016年12月の発売から1年間を実施期間とします。以降はこの商品の普及状況を勘案して実施の継続を検討します。また、予告なく終了することがありますので、あらかじめご了承をお願いします。
- ★「THE クルマの保険 三重」は、「個人用自動車保険」または「一般自動車保険」に「地震・噴火・津波 車両全損時一時金特約」を付帯したプランのペットネームです。
- ★「THE クルマの保険 三重」はご加入者さまの交通安全を祈願する商品ですが、「THE クルマの保険 三重」にご加入された皆さまに事故が発生しないことをお約束するものではありません。
- ★損保ジャパン日本興亜は、特定の政治や宗教団体とは無関係であり、信仰等をお勧めすることは一切ありません。

会員好評受付中!

mint

三重インターネットサービス

ブロードバンドが未来をひろく!

mintはインターネットをトータルにサポートします。

<http://www.mint.or.jp/>

お問い合わせは

MDT 三重データ通信株式会社

TEL : 059-223-1818

E-Mail : mint@mint.or.jp



Thinking ahead. Focused on life.

Signo T500

シグノの新たな歴史が始まる

SignoT500は、Studio F・A・Porscheのデザイン哲学と、モリタのプロフェッショナルな水準を理想的に網羅しています。洗練された色、素材、細部までこだわった仕上げは、テクノロジーと家具の共生そのもの。さらに容易なメンテナンス性と、複雑な人間工学を満たすような設計をしています。

Debut



Design by **STUDIO F・A・PORSCHE**

発売 株式会社 **モリタ** 大阪本社：大阪府守口市池水町3-32-19 〒594-8950 T.06-6380-2526 東京本社：東京都台東区上野2-11-15 〒110-8519 T.03-3834-6161 訪問会社：お客様相談センター（歯科医療従事者専用）T.0300-222-8020（フリーコール） 製造販売 製造 株式会社 **モリタ東京製作所** 本社工場：埼玉県北足立郡伊奈町小室7-129 〒362-0606 T.048-723-2621 販売名：シグノT 標準価格：3,060,000円（消費税別別途）2016年6月21日現在 一般名称：歯科用ユニット機銃の分類 管理医療機器（クラスII） 特定保守管理医療機器 医療機器認証番号：229AKB2X00061000 法定耐用年数（償却年数）：7年
詳細な製品情報につきましては、こちらをご覧ください www.dental-plaza.com

